

平成 26 年度

(平成 26 年 (2014 年) 4 月 1 日～平成 27 年 (2015 年) 3 月 31 日)

事業報告書

平成 27 年 5 月

公益財団法人浜松国際交流協会

目次

事業実施の背景と取り組み	3
事業報告	
多文化共生のまちづくり	
1. 相談事業	5
①外国人市民のための生活相談（市委託：多文化共生センター事業）	
②ワンストップ相談コーナーの運営（他機関連携事業）	
③出張相談（市委託：多文化共生センター事業）	
④中国残留邦人支援事業（市委託事業）	
⑤法律相談（自主事業）	
⑥税務相談（自主事業）	
⑦メンタルヘルス相談（市委託事業）	
⑧ソーシャルワーク研修	
⑨コミュニティ・エンパワメント	
2. 日本語学習支援事業	12
①外国人市民を対象とした日本語教室（市委託：外国人学習支援センター事業）	
②学習支援ボランティア養成講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
③地域日本語学習支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	
④浜松市日本語教育連携推進事業（文化庁委託）	
3. 外国につながる子ども支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）.....	21
①外国人子ども学習支援ボランティア活動コーディネート	
②外国につながる若者の学び直し教室	
③外国人の子どもの不就学ゼロ作戦	
4. 地域共生事業（市委託：多文化共生センター事業）	23
①各地域への個別支援	
②地域共生自治会会議	
5. 多文化防災事業（市委託：多文化共生センター事業）	24
①災害時多言語支援センター協定締結	
②モデル地区への入り込み支援	
③災害時の情報提供	
④多言語の防災・災害時対応アプリの作成と関係者間の連携強化	
6. 多様性を生かしたまちづくり事業（市委託：多文化共生センター事業）.....	25
①はままつ多文化共生 MONTH 事業コーディネート	
②文化・スポーツ紹介事業	
③地域活性化セミナー	

グローバル感覚に優れた人づくり

1. グローバル人材の育成と活用 29
 - ①地球人教育出前講座及びコーディネート（市委託：多文化共生センター事業）
 - ②国際理解教育講座（自主事業、市委託：多文化共生センター事業）
 - ③第5回はままつグローバルフェア（自主事業）
 - ④多文化体験・交流事業（市委託：外国人学習支援センター事業）
2. 国際交流・理解のための外国語講座 34
 - ①国際交流のための外国語講座（自主事業）
 - ②国際交流のための外国語サロン（自主事業）
 - ③外国人支援者のためのポルトガル語講座（市委託：外国人学習支援センター事業）
3. 国際交流・理解のためのイベント 37
 - ①ウエルカム・イベント
 - ②ワールドゆかたおしゃれコンテスト
 - ③情熱大陸南米の魅力
 - ④親子で English
 - ⑤多言語 de 世界のクッキング体験
 - ⑥マダガスカルのお鬼ごっこ「クバーラ」体験
 - ⑦世界最大級の鳥が踊る？～アンデス・コンドルの踊り
 - ⑧ポルトガル語スピーチコンテスト
 - ⑨ダビッドさんのカナダのクリスマス料理
4. 担い手の育成：ボランティア活動支援事業（自主事業） 39
 - ①HICE ボランティアバンクの運営
 - ②ホームステイ・コーディネート
5. 担い手の支援：国際交流活動支援事業 41
 - ①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の交付
 - ②天竜地域事業（市委託：外国人学習支援センター・自主事業）
 - ③セミナールームの活用（市委託：多文化共生センター事業）
 - ④多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：多文化共生センター事業）
6. 情報提供事業 45
 - ①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）
 - ②ホームページの運営（自主事業）
 - ③Facebook の運用（自主事業）
 - ④HICE info メールによる情報配信（自主事業）
 - ⑤CIR NEWS の配信（自主事業）
 - ⑥情報カウンターの設置（市委託：多文化共生センター事業）
 - ⑦催し物案内ミニリーフレットの配布（自主事業）

事業実施の背景と取り組み

平成 26 年度、国政レベルでは少子高齢化・人口減少社会に突入している日本の再興戦略の一環として、様々な分野で外国人材を受け入れていくことが検討されてきた。在留資格に「介護」が新設され、外国人技能実習制度についても、対象職種の拡大や期間が 5 年へ延長されるなど拡充される方向だ。その他、外国人による家事代行、外国人医師の受け入れ緩和など新たな分野での外国人材の活用も検討されている。また、インバウンド戦略の積極的な推進による外国人観光客の増加は顕著である。その他、留学生の受け入れや日本企業への採用促進など、戦略的に高度人材や人手不足分野での専門人材の受け入れが進められている。

浜松市に目を転じると、平成 26 年度は浜松市の策定した「多文化共生都市ビジョン」の 2 年目、「国際戦略プラン」の 1 年目であり、それらのビジョンにおいて謳われている「グローバル人材の育成」とその人材を活用した「多様性を生かしたまちづくり」が当協会の重点取り組み事業の一つであった。グローバル人材として留学生や第二世代の若者たちを始め地域で生活している外国人たちを、積極的にまちづくりに生かすことを念頭におき、「留学生ウェルカムイベント」「第二世代のための就職応援セミナー」「南米系外国人のための労働問題・グローバル人材セミナー」と対象を変えて地域活性化セミナーを重点的に行った。

このように、まちづくりに寄与する人材としての活用が強調される一方、支援の必要な新たな層も出てきている。例えば義務教育年齢を超えて来日するフィリピンなどの外国人の若者が増加している。次世代を担う若者層への支援は急務であり、当協会が「若者のための日本語教室」を試行した。今後、このような若者のニーズが増加するか引き続き実態を探りながら、事業を展開することが望まれる。

重点事業の一つであった防災への取り組みについては、自治体国際化協会の助成金を活用して「多言語の防災・災害時対応アプリ Jishin SOS HICE」を作成し、外国人住民から分かりやすいと好評を得ている。今後、アプリの普及を行いながら外国人コミュニティのネットワーク強化につなげていきたい。また、3 月には「災害時多言語支援センター設置に関する協定」を浜松市と締結し、公的な位置づけとして災害時の体制についての整備を進めることができた。

三つめの重点事業である、日本語教育を中心とした浜松市全域の外国人の学習環境整備については、地域日本語学習支援団体との連携で多くの日本語教室を実施してきた。その結果、地域日本語教育を運営していくための日本語教師が量・質ともに不足しているという課題が浮かび上がってきた。それを一つの成果として、次の取り組みに生かしていきたい。

組織面としては、効率的・効果的な事業運営を行うことを目指して中期計画を策定し、それに沿って事業の柱を整理して公益事業 1 および 2 を統合して「多文化共生のまちづくりとグローバル感覚に優れた人づくり」に一本化した。事業運営については様々な団体との協働連携を積極的に進めるとともに、委託金や協賛金等を獲得するなど、財源の確保にも努めた。当協会の目指す姿として、「多くの人や組織とつながり、誰からも頼りにされる中間支援組織」を掲げているが、その言葉に違わない方向で取り組んでいる。

平成 26 年度 総事業費 102,691,744 円

* 法人会計除く

公益 1 多文化共生のまちづくりと
グローバル感覚に優れた人づくり

多文化共生のまちづくり

1. 相談事業

多言語生活相談、ワンストップ相談、中国残留邦人支援、法律相談、税務相談、メンタルヘルス相談、ソーシャルワーク研修、コミュニティ・エンパワメント

2. 日本語学習支援事業

日本語教室、学習支援ボランティア養成講座、地域日本語学習支援事業、浜松市日本語教育連携推進事業（文化庁委託 290 万円）★重点事業

3. 外国につながる子ども支援

学習支援ボランティアコーディネート、学び直し教室、不就学ゼロ作戦

4. 地域共生事業

各地域の個別支援、地域共生自治会会議

5. 多文化防災事業 ★重点事業

災害時多言語支援センター協定締結、モデル地区への入り込み支援、災害時の情報提供、多言語の防災災害時対応アプリ作成（クレア補助金 210 万円）

6. 多様性を生かしたまちづくり ★重点事業

多文化共生 MONTH 事業、文化・スポーツ紹介、地域活性化セミナー

グローバル感覚に優れたひとづくり

1. グローバル人材の育成と活用

地球人教育出前講座、国際理解教育講座、グローバルフェア、多文化体験

2. 国際交流と国際理解の推進

外国語講座、外国語サロン、支援者のためのポルトガル語講座、国際交流・理解のための各種イベント

3. 担い手の育成と支援

ボランティアバンク運営、ホームステイ、HICE 補助金、天竜地域事業、セミナールームの活用、活動支援事業

4. 情報提供事業

HICE NEWS、ホームページ、Facebook、info メール、CIR NEWS、情報提供カウンター、ミニリーフレット

多文化共生センター

市受託 35,855 千円

外国人学習支援センター

市受託 42,988 千円

多文化共生社会の推進

事業報告

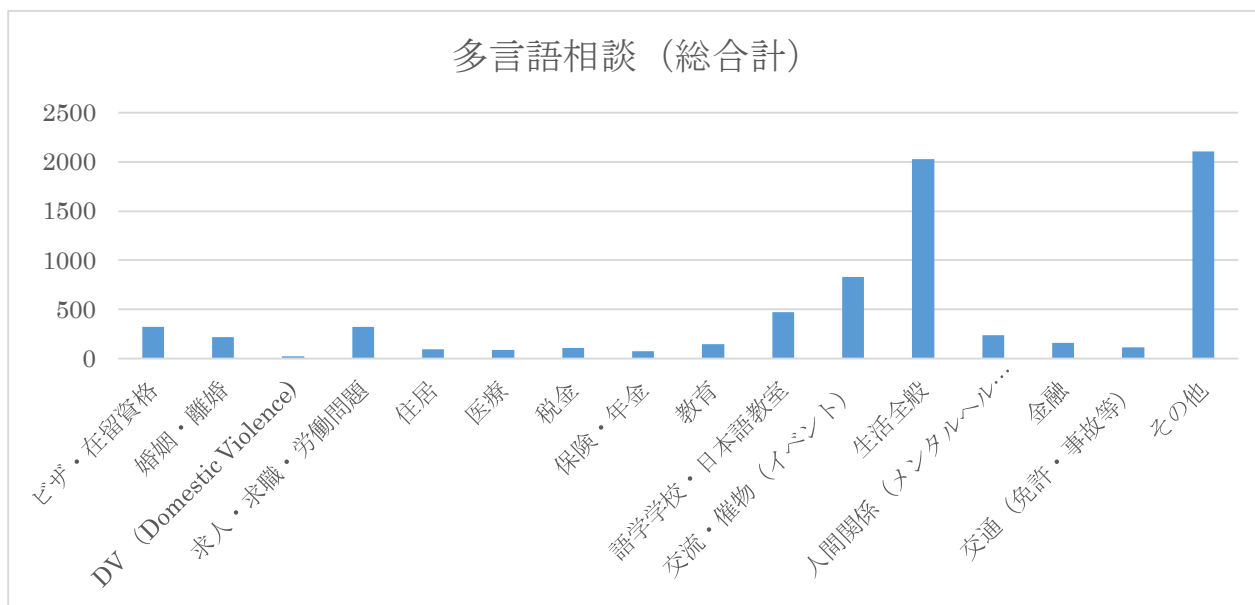
多文化共生のまちづくり

1. 相談事業 参加者数：延べ 11,186 人

① 外国人市民のための生活相談（市委託：浜松市多文化共生センター事業）

(7,525 件)

言語	曜日	時間	件数
ポルトガル語	火曜日～日曜日	9：00～17：00	4,040
スペイン語	水曜日	13：00～17：00	583
タガログ語	木曜日	13：00～17：00	438
中国語	金曜日	13：00～17：00	179
英語	火曜日～金曜日	13：30～16：30	321
日本語	火曜日～日曜日	9：00～17：30	1,964
合計			7,525

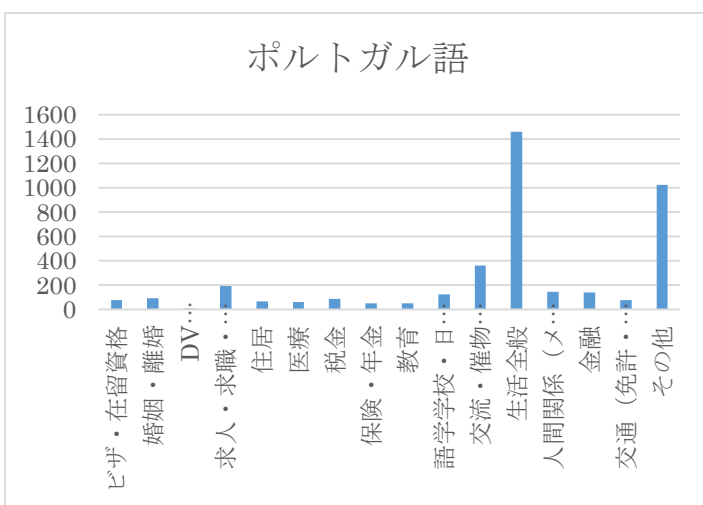


ビザ・在留資格	婚姻・離婚	DV	求人・求職・労働問題	住居	医療	税金	保険・年金	教育	語学学校・日本語教室	交流・催物	生活全般	人間関係 (メンタル)	金融	交通 (免許・事故等)	その他	合計
347	230	28	329	94	93	110	75	151	486	853	2029	238	160	117	2185	7525

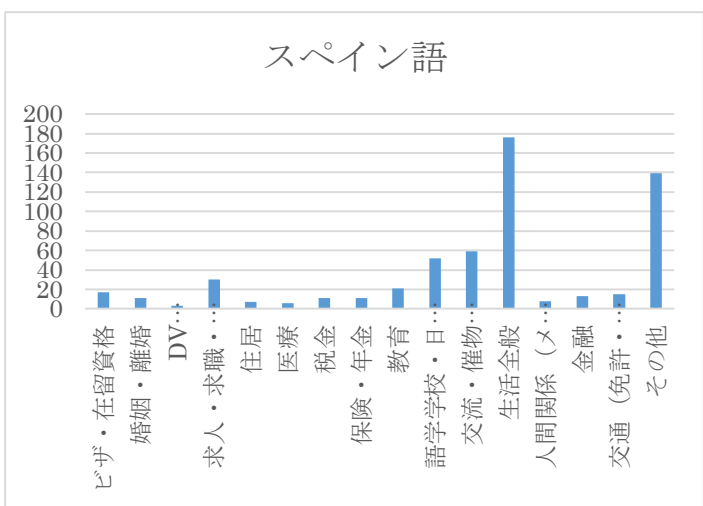
【相談内容・傾向】

全体の相談件数は昨年度に比べあまり変化はないが、スペイン語の相談件数が約4倍に増えた他、日本語による相談については、相談者が多国籍化していることが特徴としてあげられる。

内容については日本語教室情報をはじめ、離婚に関連する問題、例えば離婚後のビザや子どもの親権・子どものパスポート更新など、その他多言語で子どもを預けられる施設、自営業者の確定申告についての相談などもあった。外国人が日本で起業家したいというケースは昨年度から引き続きある。

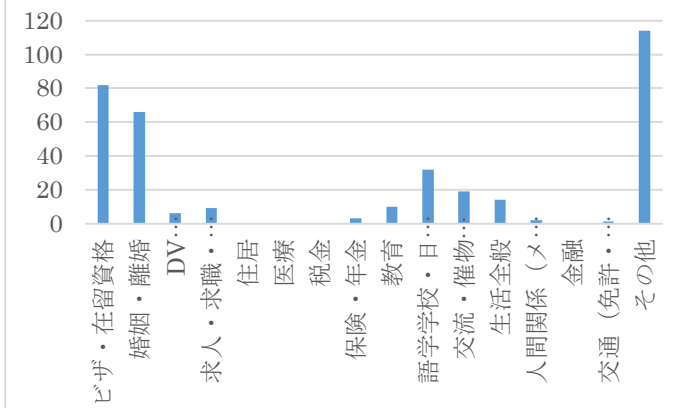


ブラジル人は減少しているが、コミュニティリーダーによるまとめ相談が市外からも昨年度に引き続き寄せられた。内容としては有給休暇や起業についてなどが目立ってきた。親の別居等で子どものパスポート更新のトラブルなどもある。また、日本育ちのブラジル人による本国の書類についての相談も出てきている。



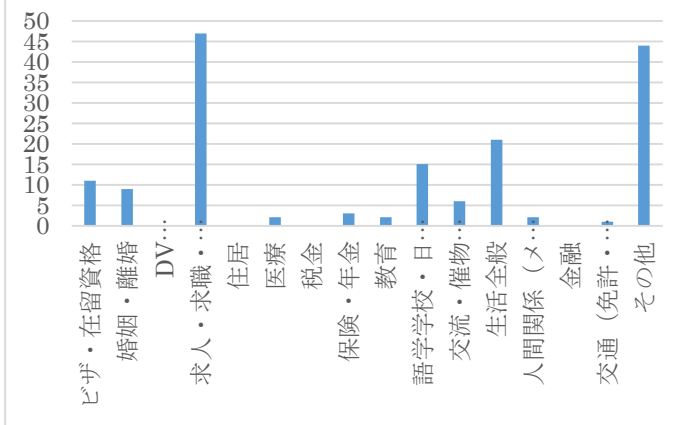
主にペルー人からの相談。相談はメールよりも電話が多く、一人当たりの件数が多い。内容的には年金や国民保険、金銭トラブルなどがあつた。ペルー人保護者からは子どもに母語とペルーの文化を教えてもらえる教室についての問合せなどもあり、教育熱心なところがうかがえる。

タガログ語



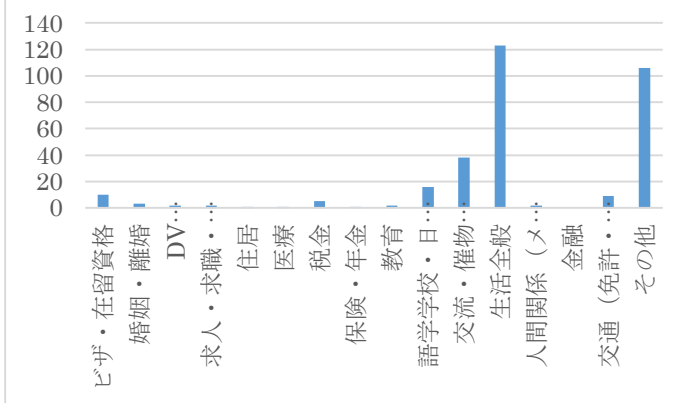
フィリピン人が外国で(日本で)離婚する際に、フィリピンの裁判所で手続きが必要になったため、フィリピンにいる弁護士を紹介してほしいなどの相談が増えている。また、フィリピンの弁護士に頼んだが連絡がつかなくなった、うまくいかなかったなどのトラブルもある。

中国語

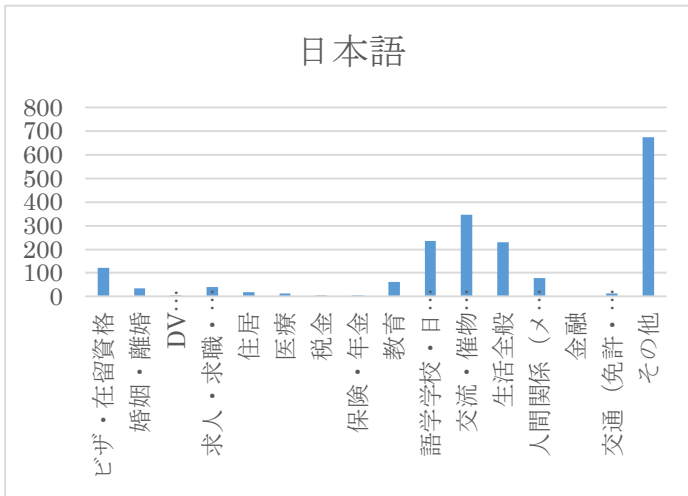


中国人と日本人の離婚など家族のトラブルが多い。また、中国人家族が日本で子どもを育てる際の教育情報について、中国人が日本で永住もしくは日本国籍を取得して土地や家を購入する手続きについての相談など、定住・永住にとまなう相談が多い。

英語



英語圏やその他の国籍からの相談。目だった相談はなく、昨年度と引き続き日本語教室や日本の文化体験講座、年金の脱退一時金などがあつた。交通事故による通訳の紹介や英語が通じる医療機関、帰国する際に必要な手続きなどが多数ある。



インドネシア人、ベトナム人、フランス人などで日本語が堪能な在住外国人からの相談は、離婚や専門学校への進学などであった。日本人から外国人との婚姻・離婚についてもあった。また、企業から外国人研修生（モンゴル、インドネシア、インドなど）とのトラブルについて仲介や通訳の要望などが寄せられた。

②ワンストップ相談コーナーの運営（他機関連携事業）（1,763 件）

ハローワーク、労働基準監督署、入国管理局と連携して、それぞれ専門相談の窓口を配置した。

相談件数：延べ1,763 件

単位：件

機関	件数
ハローワーク	1,602
入国管理局	161
合計	1,763

③出張相談（117 件）

出張先 宗教団体（プレビステリアナ教会（32 件）、ユニバーサル教会（15 件）、カトリック浜松教会（20 件）、ブラビステリアナ教会（50 件）

④中国残留邦人支援事業（市委託事業）（483 件）

中国在留邦人とその配偶者で、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対し生活支援費を給付する際の業務補助、相談、通訳等の支援のために、相談員及び通訳を配置または派遣した。

■市内区役所（中・南・東・北）の福祉事務所に中国語による支援相談員 1 人を配置

日時 週 4 日 13:00～17:00（186 日）

相談内容 日常生活、子どもの教育問題、日本語学習、就労相談など

相談件数 延べ 353 件

対象 13 世帯 19 人

■医療機関等へ通訳を派遣

件数 延べ130件
対象 15世帯45人

⑤法律相談（自主事業）（65人）

毎月第4木曜日に弁護士による法律相談を行った（12月を除く 全11回）。

相談者数 延べ 65人

協力 静岡県弁護士会、関東弁護士連合会（11月の拡大法律相談）

⑥税務相談（自主事業）（45人）

日時 平成27年2月7日（土）9:30～16:30

内容 確定申告を必要とする外国人を対象に、通訳（ポルトガル語、スペイン語、タガログ語）をつけて、申告がスムーズに行えるように支援した。

参加者 相談者35人、通訳5人、税理士5人 合計45人

協力 東海税理士会浜松西支部

⑦メンタルヘルス相談（市委託事業）（1,188件）

ブラジル人心理士2人を配置し、ポルトガル語でのメンタルヘルス相談を行った。

■相談

日時 平成26年4月～平成27年3月 週5日 9:00～17:00

件数 延べ691件

内容 うつ、統合失調症、ストレス、不安、心理的発達障害等に関連する相談。

家族の問題、教育上の問題、医療機関への受診等についての相談。

傾向 相談の傾向は昨年とあまり変わらない部分もあるが、新しい内容の相談も出てきている。夫婦関係の問題が子どもに影響していることは昨年と変わらない。新しい相談として法に関わるようなケースもあったが、メンタルヘルス以外のサポートは出来ない。精神科を希望又はその必要性のある場合医療機関へ繋ぐケースが増えている。日本で永住を考えている人が増えてきており、どちらで暮らすかという葛藤が無くなったことで安定感がでてきているようである。しかし、保護者は帰国したいが子どもは日本にいたいというケースもある。大人に関しては体調不良（頭痛、不眠、無気力、不安等）の相談が多かった。診察の時に家族関係、金銭的問題、過去にあった酷い出来事等の話しがでてくるので、薬だけの治療ではなくカウンセリングも必要である。発達障害の子どもの診療に同行通訳をする際、親からの子供の問題に関する訴えを聞くが、主な訴えは、言葉がでない（出ても意味不明）、落ち着きがない、おむつが取れない等が多かった。中には保護者が精神科に通っている、生活面が安定していないケースもあったため、保護者のケアも必要と感じた（HICEのメンタルヘルス相談窓口を紹介）。

■通訳

精神科や発達相談関連の受診・相談に対し、専門家の通訳を派遣

通訳件数 延べ 228 件

■出張相談

出張先 外国人支援の NPO 法人アラッセ

日 時 平成 26 年 6 月 25 日、9 月 3 日、11 月 12 日 平成 27 年 2 月 4 日 計 4 回

対 象 小、中学生 6 人～11 人 計 35 人

出張先 浜松市立江南中学校

日 時 平成 26 年 7 月 4 日 (金) 8:30～17:25

対 象 中学生 2 人、保護者 3 人 計 5 人

■メンタルヘルスに関する通訳者等を対象とした研修会

「ペアレント・トレーニング指導者養成研修」

発達障害のある子どもの親のための子どもの育て方のトレーニング「ペアレント・トレーニング」を行った。

目 的 発達障害のブラジル人・ペルー人の子どもの相談が増えているので、日本語・ポルトガル語もしくはスペイン語のバイリンガル者で、教育現場や児童相談所等の通訳として親子と関わる現場を持っている人が、ポルトガル語やスペイン語で直接保護者にペアレント・トレーニングができるように研修を行う。本年度は研修を受けた人たちが保護者へポルトガル語でペアレント・トレーニングを実践した。

日 時 前半：5 月 17 日、31 日、6 月 14 日、28 日

後半：9 月 27 日、10 月 11 日、25 日、11 月 8 日 計 8 回

参加者 前半：アドバイザー 1 人 スタッフ 7 人 保護者 4 人

後半：アドバイザー 1 人 スタッフ 8 人 保護者 5 人 延べ 26 人

■メンタルヘルスに関する啓発講習会（小集団活動）

日付	テーマ	場 所	参加者
5 月 24 日	サイコパシー（反社会人格障害）I	浜松いのちの電話	6 人
11 月 15 日	サイコパシー（反社会人格障害）II	浜松いのちの電話	5 人
12 月 27 日	メンタルヘルス相談・精神科通訳派遣依頼	浜松いのちの電話	4 人
1 月 17 日	気分障害（感情障害）	浜松いのちの電話	3 人
2 月 14 日	心理と文化	浜松いのちの電話	5 人
合計			23 人

日付	テーマ	場所	参加者
3 月 14 日	教育と習練 — ほめ方について	浜松市教育会館	180 人
合計			180 人

⑧ソーシャルワーク研修（172人）

■ソーシャルワーク習得講座 場 所 多文化共生センター

内 容 通訳や相談員が、多種多様な通訳場面や相談に対応するために、専門的知識を習得し、外国人市民の生活支援にあたるためのノウハウや心構えを学ぶ研修を行った。

対 象 各機関で外国人の通訳や相談にあたるバイリンガル者

日時	テーマ	講師	参加者
4月13日（日） 14:00～16:00	在住外国人のための生活設計 セミナー	ヨシエ・ナカヤ ブラジル銀行	14人
5月25日（日） 14:00～16:00	在住外国人のための交通安全 セミナーについて	外国人交通安全教育指導員片 野幸子 (株)オフィスマリーン サコウ セリア	20人
6月22日（日） 15:00～17:00	労働者の権利の義務について	法テラス浜松弁護士 道口 学氏	16人
9月20日（土） 14:00～15:30	「日本の多文化共生施策－過 去・現在・未来」	明治大学教授 山脇啓造	68人
11月29日（土） 14:00～15:30	法律相談の事例について	法テラス浜松弁護士 井上 圭	27人
1月23日（金） 10:00～12:00	講話：通訳者としての心構え グループワーク：ケース検討 *浜松市役所ポルトガル語通 訳研修として実施	国外就労者情報援護センター (CIATE)理事長 二宮 正人	27人
合計			172人

⑨コミュニティ・エンパワメント（市委託：浜松市多文化共生センター事業）（143人）

■ブラジル人コミュニティエンパワメント（44人）

日時	テーマ	講師	参加者
10月24日（金）	サークル・ダンス ワークショ ップ	コルディロ・ルシア（ユネス コ国際ダンスカンシル委員）	18人
2月20日（金）	調停による問題解決方法につ いて	タカハシ・ブルーノ ブラジル人裁判官	26人

■ペルーコミュニティエンパワメント (50人)

日時	テーマ	講師	参加者
4月13日(日) 14:00~16:00	南米系外国人の若者のための 自己分析セミナー	田中 ネリダ 松田・デレック ヌーネス・アレックス	50人

■ベトナムコミュニティエンパワメント (49人)

日時	テーマ	講師	参加者
3月29日(日) 14:00~16:00	防災セミナー	浜松市危機管理課	49人

2. 日本語学習支援事業 **参加者数：延べ12,103人42件**

①外国人市民を対象とした日本語教室(市委託：浜松市外国人学習支援センター事業)
(5,048人)

協働団体：With U-Net

第1期		(受講者数 述べ1,471人)		
	講座名	回数	日付	受講者
かな・漢 字クラス	ひらがな・カタカナ①	12	4月14日~5月9日	129人
	ひらがな・カタカナ②	12	5月13日~7月22日	146人
	生活漢字	10	5月16日~7月18日	112人
	検定漢字	30	5月8日~7月17日	259人
初級クラ ス	レベル0	10	4月14日~5月7日	65人
	レベル1	20	5月13日~7月17日	289人
	レベル2	20	5月13日~7月18日	167人
	レベル3	20	5月12日~7月16日	112人
	実践	20	5月13日~7月18日	117人
文法クラ ス	基礎文法	10	5月16日~7月18日	75人
				合計 1,471人

第2期		(受講者数 述べ1,814人)		
	講座名	回数	日付	受講者
かな・漢 字クラス	ひらがな・カタカナ①	12	7月30日~9月1日	109人
	ひらがな・カタカナ②	12	9月2日~11月18日	188人
	生活漢字	10	9月5日~11月7日	120人
	検定漢字	30	9月1日~11月13日	270人

初級クラス	レベル0	10	8月4日～9月1日	95人
	レベル1	20	9月2日～11月11日	278人
	レベル2	20	9月2日～11月14日	262人
	レベル3	20	9月1日～11月19日	168人
	実践	20	9月2日～11月11日	134人
文法クラス	基礎文法	10	9月5日～11月7日	190人
合計				1,814人

第3期 (受講者数 述べ1,531人)				
	講座名	回数	日付	受講者
かな・漢字クラス	ひらがな・カタカナ①	12	11月26日～12月22日	96人
	ひらがな・カタカナ②	12	1月6日～3月17日	151人
	生活漢字	10	1月9日～3月13日	131人
	検定漢字	30	1月5日～3月18日	137人
初級クラス	レベル0	10	12月1日～12月22日	86人
	レベル1	20	1月6日～3月12日	258人
	レベル2	20	1月6日～3月13日	226人
	レベル3	20	1月5日～3月18日	191人
	実践	20	1月6日～3月13日	101人
文法クラス	基礎文法	10	1月9日～3月13日	154人
合計				1,531人

検定クラス(受講者数 述べ232人)

	期	回数	日付	受講者
日本語能力試験クラス(N4)	第2期(後半)	10	4月24日～7月3日	65人
	第1期	20	7月17日～12月4日	108人
	第2期(前半)	10	1月8日～3月12日	59人
合計				232人

②学習支援ボランティア養成講座

(市委託：松市外国人学習支援センター事業) (2,239人)

■日本語ボランティア養成講座

地域における日本語学習支援で必要とされる知識や技術を学ぶボランティア養成講座を開催。

協働団体 ネクスト

全16回/各期

	期間	受講者数
第1期	4月22日～8月19日	177人
第2期	5月1日～8月7日	336人
第3期	8月28日～12月11日	268人
第4期	11月12日～3月18日	226人
合計		1007人

プログラム例：日本語文法、異文化理解、外国語体験、外国人児童の現状
ボランティア体験

■日本語ボランティア実地研修

日本語教室を見学し、他者の活動内容や教授技術を学ぶ。
教室後の振り返りに参加し、参考になった点や気付いた点を述べ技術を高め合う。
見学シートを提出し、他者の教室活動を客観的に評価するとともに自己研鑽に努める。

日本語教室・初級クラス	延べ475人
日本語教室・かな漢字クラス	延べ317人
日本語教室・文法（基礎文法）クラス	延べ121人

■日本語ボランティアスキルアップ講座

日本語ボランティア養成講座修了生を対象に本講座を実施し、活動者のスキルアップを図った。

回	内容				受講者
1	7月28日 月	13:00～14:30	HAJACシステム評価者 養成講座	浜松国際交流協会	11人
2	7月28日 月	14:30～16:00	HAJACシステム評価者 養成講座	日本語ボランティア養成講 座企画運営委員会ネクスト	11人
3	8月1日 金	10:30～12:00	HAJACシステム評価者 養成講座	日本語ボランティア養成講 座企画運営委員会ネクスト	9人
4	8月1日 金	13:00～14:30	HAJACシステム評価者 養成講座	日本語ボランティア養成講 座企画運営委員会ネクスト	8人
5	8月18日 月	13:00～14:30	HAJACシステム評価者 養成講座	日本語ボランティア養成講 座企画運営委員会ネクスト	9人
6	8月18日 月	14:30～16:00	HAJACシステム評価者 養成講座	日本語ボランティア養成講 座企画運営委員会ネクスト	9人
7	8月25日 月	13:00～14:30	HAJACシステム評価者 養成講座	日本語ボランティア養成講 座企画運営委員会ネクスト	9人

8	10月8日 水	13:00～15:00	HAJAC システム評価者 養成講座	日本語ボランティア養成講座 企画運営委員会ネクスト 浜松国際交流協会	8人
9	11月12日 水	13:00～15:00	HAJAC システム評価者 養成講座		8人
10	11月19日 水	13:00～14:30	HAJAC システム評価者 養成講座	浜松国際交流協会 ネクスト	10人
11	11月22日 土	13:30～15:00	U-ToC 文化祭 日本語 スピーチコンテスト	With U-Net	100人
12	12月12日 日	10:00～12:00	知っているようで知らない 外国人技能実習制度 ～コンビニ弁当と 外国人実習生～	株)きぼう国際外語学院	47人
総合計					239人

■教職員多文化共生講座

- 協働団体：セメンチ パラ オ フトゥーロ
(全4回／各曜日)

8月7日(木) 9:00～16:15					
回	時間	内容			受講者
1	9:00～10:30	学校で使えるポルトガル語	セメンチ パラ オ フトゥーロ		15人
2	10:45～12:15	ブラジルと日本と私～保護者の立場で 考える～	セメンチ パラ オ フトゥーロ		15人
3	13:00～14:30	やさしい日本語ワークショップ：読め ないお知らせ	かながわ開発教育 センター		13人
4	14:45～16:15	「ひょうたん島問題」から多文化共生 を考える	浜松国際交流協会		13人

8月8日(金) 9:00～16:15					
回	時間	内容			受講者
1	9:00～10:30	学校で使えるポルトガル語	セメンチ パラ オ フトゥーロ		6人
2	10:45～12:15	ブラジルと日本の教育システムの違い	セメンチ パラ オ フトゥーロ		6人

3	13:00～14:30	やさしい日本語ワークショップ	かながわ開発教育センター	6人
4	14:45～16:15	「ひょうたん島問題」から多文化共生を考える	浜松国際交流協会	6人

総合計	80人
-----	-----

③地域日本語学習支援事業（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）

(3,847人42件)

■日本語学習支援団体ネットワーク会議

日本語学習支援団体間の情報の共有や共通課題の克服のためにネットワーク会議を開催した。

参加団体 34人

回	日時		内容	参加者
1	8月26日	13:30～15:00	第1回ボランティアによる情報交換会	14人
2	11月22日	13:30～15:00	活動のパネル展示	4人
3	12月22日	13:00～14:30	第2回ボランティアによる情報交換会	16人

■地域日本語学習コーディネート業務（291人42件）

- ・養成講座修了生による自主グループ「おしゃべりクラス」運営支援
「おしゃべりクラス」18回開催 延べ291人参加
- ・日本語学習支援ボランティアコーディネート（大人）
日本語学習支援団体や個人に日本語教師およびボランティアを紹介 42件
内訳：団体1件、個人41件

■フィリピン人児童・生徒を対象とした就学支援教室（ハロハロ教室）

協力 NPO 法人フィリピンナガイサ

会場 南部協働センター

期間	曜日	時間	参加者（延べ）	
			初期適応	寄り添い教室
5月17日～3月14日 （全36回）	土曜日	13:30～15:30	200人	492人

■ベトナム人の子ども学習支援（三方原教室）

協力 静岡県ベトナム人協会

会場 三方原協働センター

期間	曜日	時間	参加人数(延べ)	
			低学年教室	高学年教室
7月2日～3月25日 (全35回)	火曜日	18:30～20:30	458人	306人

■浜北日本語教室

協力 浜北国際交流協会

会場 浜北文化センター 他

期間	曜日	時間	会場	参加人数 (延べ)
4月5日～3月28日 (全49回)	土曜日	14:00～16:00	浜北文化センター	1,300人
4月5日～3月28日 (全80回)	土曜日	午後と夕方	企業3社の寮	480人

文化交流

4月	お花見	15人
7月	日本語能力試験おつかれさま会	26人
10月	国際フェア&ステージパフォーマンス・インドネシアダンス等	50人
11月	紅葉狩り	17人
12月	日本語能力試験おつかれさま会、ベトナムの踊り、着物体験、餅つき体験等	88人
1月	書初め	13人
2月	日本語スピーチコンテスト、囲炉裏体験、剣道体験	31人
3月	ひな祭り展見学、剣道体験、お花見&帰国実習生送別会	46人
合計		286人

④浜松市日本語教育連携推進事業（文化庁委託）（969人）

（自主事業）

概要

市内で活動している日本語学習支援団体と日本語教室を協力して開催し、連携会議で意見交換を行う

ことによって、日本語学習支援に関するノウハウや日本語教室を運営する上での課題を共有した。また、浜松市全体として、生活者としての外国人に必要な日本語教育についても検討を重ねた。

■取組 1 浜松市日本語教育推進会議

各日本語教室の理念、特徴、機能の確認や学習者のニーズに関する情報の共有を図った。団体の体制に対する課題、文化庁事業を運営する上での課題、教室の有料化問題等を協議した。

参加団体 にほんご NPO、ジャボラ NPO、中国文化交流会、静岡県ベトナム人協会、NPO フィリピン・ナガイサ、NPO ブラジル文化振興会、With U-Net

会議回数 3回

■取組 2 生活者としての外国人のための日本語教室

地域日本語学習支援団体と連携し、U-ToC では開催できない時間帯や曜日に教室を設置したり新たに教室を立ち上げたりして、学習者にとって日本語教室に参加しやすい環境を整備した。また、学習ニーズを探り生活者としての外国人に必要な日本語教育のあり方を検討した。

《第 1 期・日 AM 日本語教室（にほんご NPO 協力）》

期 間 4月13日～9月28日（日）9:50～12:00（全17回）

会 場 浜松市市民協働センター（ギャラリー）

クラス 6クラス（会話1～会話6）

学習者

	登録者数	合計数（のべ）	出席平均 （人／回）	国籍
会話1	37人	171人	10.7人	中国、フィリピン、ペルー
会話2	35人	153人	9.6人	インドネシア、ベトナム
会話3	36人	123人	7.7人	インドネシア、中国、ブラジル
会話4	32人	125人	7.8人	ペルー、ブラジル、フィリピン
会話5	21人	116人	7.3人	インドネシア、ネパール、インド
会話6	20人	100人	6.3人	ブラジル、インドネシア、中国
合計	181人			

振り返り会議 8月24日（日）10:00～12:00@市民協働センター

（出席者）にほんご NPO7名、HICE3名

《第 1 期・土 AM 日本語教室（ジャボラ NPO 協力）》

期 間 5月17日～9月27日（土）10:00～12:00（全16回）

会 場 浜松市多文化共生センター

クラス 4クラス（会話レベル1、会話レベル2、漢字 N5、漢字 N5～N3）

学習者

	登録者数	合計数 (のべ)	出席平均 (人/回)	国籍
会話1	16人	92人	5.8人	フィリピン、ベトナム、ブラジル
会話2	12人	81人	5.1人	フィリピン、ブラジル、ポーランド
漢字 N5	9人	68人	4.3人	中国
漢字 N5～N3	13人	105人	6.6人	ベトナム、ブラジル、ペルー
合計	50人			

振り返り会議 8月22日(金) 10:00～12:00@多文化共生センター

(出席者) ジャボラ NPO6名、HICE4名

《第2期・日 AM 日本語教室 (にほんご NPO 協力)》

期 間 10月5日～3月8日(日) 9:50～12:00 (全15回)

会 場 浜松市市民協働センター (ギャラリー、第2研修室)

クラス 5クラス (はじめて、会話1～会話3、中級・敬語)

学習者

	登録者数	合計数 (のべ)	出席平均(人/回)	国籍
レベル0	23人	111人	7.4人	ブラジル、イギリス、ネパール
初級会話1	39人	199人	13.3人	インドネシア、ベトナム、ペルー
初級会話2	39人	199人	13.3人	インドネシア、ベトナム、ブラジル
初級会話3	32人	224人	14.9人	ベトナム、ペルー、インドネシア
中級・敬語	21人	141人	9.4人	ブラジル、ベトナム、ペルー
合計	154人			

《第2期・水夜仕事のための日本語教室 (ジャボラ NPO 協力)》

期 間 10月8日～2月4日(水) 19:00～21:00 (全14回)

会 場 クリエイト浜松

クラス 3クラス (基礎、仕事の日本語、漢字 N5～N3)

学習者

	登録者数	合計数 (のべ)	出席平均(人/回)	国籍
基礎	12人	64人	4.6人	インドネシア、ネパール
仕事の日本語	14人	64人	4.6人	ブラジル、ペルー
漢字 N5～N3	17人	81人	5.8人	ブラジル、ペルー、ベトナム
合計	43人			

■取組3 日本語教育シンポジウム「写真で語る私の歴史～これまでの私とこれからの私」

浜松に住む外国人住民が、貴重な写真とともに自らの歴史を振り返るイベントを行った。浜松市日本語教育推進会議出席者らによる実行委員会形式で企画運営を行った。

実行委員会

メンバー 加藤庸子（にほんご NPO 代表）
河合せつみ（ジャボラ NPO 代表）
趙驕陽（中国文化交流会代表）
西崎稔（静岡県ベトナム人協会）
藤井ロドリゴ（NPO ブラジル文化振興会）
松葉優子（With U-Net）
山浦優子（NPO フィリピン・ナガイサ）

会議回数 3回

写真で語る私の歴史～これまでの私とこれからの私～

日時 平成27年2月15日（日）10:10～11:40
会場 クリエイト浜松2Fホール（ストーリーテリング）、22 講座室（交流会）
参加者 500人
発表者 高井マリー（フィリピン）
三井新一（中国）
椎木豊美マリナ（ブラジル）
藤井ロドリゴ（ブラジル）
山田明（ベトナム）
エドアルド・ルーダス・リベロ（ペルー）
内山ワリソン（ブラジル）

■成果・課題

本事業では、全ての取組において、市内で日本語学習支援を行っている2つの主要な団体、にほんご NPO とジャボラ NPO と協議を重ねて行った。会議等で意見交換をする機会はこれまでもあったが一つの事業を連携して行うことは初めてだったため、成果も大きかった。特に、ボランティアで構成されている NPO 団体が中間支援組織としての当協会に期待していることなどがはっきりし、日本語学習支援における当協会の役割が明確になった。

また、協働で教室を運営したことで、それぞれの団体の理念、体制、リソース、ノウハウ、所属日本語教師のスキル等、特徴が見え、課題も明らかになってきた。

今後は、連携をしたことによって見えてきた課題「日本語教師の人材育成」「多様な日本語学習支援情報の共有と一元化」「言語保障としての日本語教育と定着支援としての日本語教育の両輪の充実」に取り組んでいく。

3. 外国につながる子ども支援事業（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）

参加者数：延べ 35 人 27 件

① 外国人子ども学習支援ボランティア活動コーディネート（27 件）

小中学校や支援団体に日本語教師及び学習支援ボランティアを紹介 27 件

内訳：小学校に紹介 12 件、支援団体に紹介 14 件、その他 1 件

② 外国につながる若者の学び直し教室（15 人）

10 代後半で親の呼び寄せにより来日した若者、外国人学校を卒業した若者、義務教育を受けていない若者や、高校等への進学がかなわなかった若者が学び直すための機会を提供するとともに、地域社会で活躍できるための効果的な支援のあり方を研究する

教室名	夏季集中 若者のための日本語教室
実施期間	平成 26 年 7 月 31 日～平成 26 年 9 月 1 日（月～金 全 80 コマ 20 日間）
受講者数	4 人（フィリピンにルーツ）
講師等	日本語教師 4 人
内 容	20 日間集中して基礎的な日本語を学ぶ。また、学習の習慣づけと仲間づくりも目指す。途中、日本人高校生との交流会も設け、高校進学の意識づけも行った。
成果・課題	<p>毎日教室を開催すること、テキストを使うことは新たな試みであったが、修了時には、発話もかなり増え、日本語で作文が書けるようにまでなっていた。1 ヶ月で 1 冊を終えるというわかりやすい目標設定により、途中離脱者がでず短期集中の効果はあった。</p> <p>ただし、基礎的な日本語の習得は達成できても、高校進学を目指すにはまだまだ日本語力が足りない。定時制高校の教員からも日本語が足りず授業についていけない生徒の支援について問い合わせもあることから、定時制高校の試験（面接と作文）に向けた対策をするのではなく、入学後も見据えて長期的な視野にたった日本語学習支援を検討する必要がある。</p> <p>また、講座終了後、U-ToC の日本語教室に継続して通うことを勧めたが、通級にお金がかかる（交通費）という理由で継続支援ができなかった。交通手段のない若者にとって、会場は選択における大きな要因となることがわかった。</p>

教室名	e ラーニングシステムを活用した外国人青少年の学びなおし教室（わたぼうし教室）
-----	---

実施期間	10月～3月
対象	義務教育を受けていない若者や、高校等への進学がかなわなかった若者
登録者数	11人
内容	「日本語能力試験対策コース」と「中学校卒業認定試験対策コース」の2つ設定（日本語、ポルトガル語、英語）、中学校卒業認定のコース学習者はゼロ。現在登録者は11名。

③ 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業（20人）

外国籍の就学年齢の子どもで不就学が確認された者につき、訪問等で実際の状況を確認し、状況に応じてなんらかの教育環境につなげる。

■平成26年度に不就学が確認された者の現在の状況

項目			内訳	
調査により不 就学が 確認さ れた者 (20)	浜松市に居住 (18)	就学 (2)	公立小学校	0人
		支援・継続調査により就 学が確認できた者	公立中学校 (卒業)	1人
			私立中学校	0人
			市内の認可外国人学校 * 1	1人
			市外の認可外国人学校	0人
	実質不就学 (13)	学習支援教室等に在籍	6人	
		学習支援教室等にも在籍なし	7人	
	居住実態なし (2) 訪問等の調査により、転居・帰国が確認できた者	就学予定 (3)	ガイダンス・手続き済みの者	3人
転居・居住実態なし		転居・居住実態なし	0人	
		帰国	2人	
合計			20人	

* 1 本国政府による認可

* 2 教育委員会及び学校、学習支援教室等と各家庭の相談の中で4月入学を選択し、準備を済ませている者

【実質不就学者の内訳】

項目		内訳	
実質不 就学者 (13)	学習支援教室等に在 籍あり (6)	本国政府認可外の学習施設に通っている	2人
		虹の架け橋教室等に通っている	4人
	学習支援教室等にも 在籍なし (7)	学校や支援教室に通っておらず、帰国予定もない	2人
		就学に向けて教育委員会、外国人学校と相談中	2人
		転出 (国内・国外) 予定 (1ヶ月未満)	0人
		転出 (国内・国外) 予定 (1ヶ月以上先)	3人

合計	13人
----	-----

不就学者への支援

不就学が判明した者については、適宜その後の状況確認、就学支援を実施

訪問面談	18件	不就学判明後の状況確認、面談等
情報提供	29件	教育相談支援センターや学習支援教室、NPO 教室等を紹介
就学準備支援	7件	学校見学、就学準備ガイダンス、NPO の教室見学への同行等

4. 地域共生事業（市委託：浜松市多文化共生センター事業）

参加者数：延べ 29人 11件

①各地域への個別支援（11件）

地域名	内容
遠州浜自治会	夏祭りのちらし、おみこし、子どもゲームの案内を翻訳（ポルトガル語）
上島自治会	近所にブラジル人のクラブがあり、ごみと騒音で困っている。→ADR を紹介したが、結果としてクラブが撤退。
上善地自治会	民間アパートに住んでいるブラジル人にごみだしのルールを守ってもらいたい。→ポルトガル語での資料をいくつか渡した。
幸自治会	フィリピン人家族が引っ越してきたので自治会活動やごみだしルールについて案内したい。→タガログ語での資料をいくつか渡した。
幸自治会	子ども会の案内を引っ越してきたブラジル人に渡したいので翻訳してほしい→ポルトガル語、中国語、タガログ語に翻訳
高丘自治会	ごみだしルールについて翻訳したものを配っていても守られない→組長がごみ集積所に立つなどのアドバイスをした。また、より簡単な翻訳資料を渡した。
遠州浜第三自治会	年の後半の自治会行事について案内したい。→ポルトガル語に翻訳
高丘自治会	放置自転車の撤去についてのお知らせをベトナム語に翻訳してほしい→ベトナム語に翻訳
遠州浜第三自治会	ブラジル人役員より相談。無断駐車について、静岡県住宅公社西部支所宛に日本語の手紙を作成したい→日本語の文書を作成を支援
幸自治会	ゴミだしのルールを守っていないブラジル人世帯に対し、ポルトガル語で個別に案内を出したい→文書作成を支援し、ポルトガル語に翻訳
浜北県営団地	ブラジル人牧師から、共益費に神社での祭りに使う費用が含まれているので支払いたくないと言われて困っている。また、ブラジル人住民から掃除の

	<p>出不足金を徴収するのは違反だと言われ、弁護士に相談すると言われた。そもそも、自治会は強制的に加入しなくていいので脱退したいと言われた。→まずは、状況把握のために話を聞き、考え方の違いを説明し、情報開示をすることなどを助言。通訳・翻訳を含め協力できることを提示。支援を継続。</p>
--	---

②地域共生自治会会議「外国人住民とともに行う避難所運営」(29人)

東日本大震災において外国人住民が9割を占めた避難所の運営にあたった経験を持つ町内会長を講師に迎えた。形式的な防災訓練ではなく、外国人住民も含めた避難所の運営訓練を行う必要性などについて学んだ。また、浜松市内から参加した各自治会の状況について報告をしてもらい、情報交換、意見交換を行った。

日時 3月1日(日) 13:00~16:30

会場 多文化共生センター

内容 【前半】講話「外国人住民とともに行う避難所運営について
～東日本大震災における実際の経験から～」

講師 仙台市国見地区連合町内会会長 千田文彦氏

【後半】事例紹介と情報交換及び質疑応答

浜松市内の外国人住民の多い自治会における防災の取り組みについて他

参加者 自治会関係者等(16自治会21人、一般8人)

5. 多文化防災事業 参加者数：90人2件

①災害時多言語支援センター協定締結(3月5日)

浜松市と「浜松市災害時多言語支援センター設置に関する協定」を締結。

②モデル地区への入り込み支援

■子安団地 防災訓練

日時 1月25日(日) 13:30~16:00

会場 子安団地 集会所

内容 ・東区職員より防災のお話
・起震車体験
・炊き出し

参加者 ブラジル・ペルー・中国・日本 20人

■入野地区 防災ワークショップ

日時 2月1日(日) 13:00~16:30

会場 入野協働センター

参加者 入野地区自治会役員、民生委員等、
外国人リーダー（ブラジル、ペルー）13人 合計70人
内容 【前半】防災ワークショップ「クロスロード」

③災害時の情報提供（26件）

Facebook で災害情報を多言語で発信
災害注意情報 21回（台風注意報等）
災害関連情報 5回（海難事故啓発、避難訓練、防災DVD案内等）

④多言語の防災・災害時対応アプリの作成と関係者間の連携強化

概要 ポルトガル語と英語による防災・災害時対応アプリを作成。特徴としては、外国語マスコミとの連携により作成することで、外国人の目線からシンプルで使いやすいものにする工夫を行った。また、外国語マスコミによるポスターとインターネットTVのCMの作成も行い、外国人コミュニティへの広報を充実させた。

アプリ名 「Jishin SOS HICE」（言語 ポルトガル語・英語）

内容 浜松市が作成した「避難行動計画」（ポルトガル語・英語版あり）を基にし、詳細は浜松市の多言語生活情報サイト「カナルハママツ」へ誘導。

- ・避難所マップ（現在地から一番近い避難所を探すことができる）
- ・災害時用語辞典（災害時によく使う日本語表現・一部音声つき）
- ・サイレン等の説明（実際に音声を聞くことができる）
- ・メモ（緊急避難場所や家族の待ち合せ、緊急食品の有効期限の入力画面）

リリース 平成27年2月26日

連携機関 静岡県多文化共生課・危機管理部・西部危機管理局、浜松市国際課・危機管理課・静岡県国際交流協会、IPC、Alternativa、ABS-CBN Global、Pinoy Gazette

助成 一般財団法人自治体国際化協会（クレア）

6. 多様性を生かしたまちづくり事業（市委託：浜松市多文化共生センター事業）

参加者数：延べ231人30件

① はままつ多文化 MONTH 事業コーディネート

浜松市内で行われる多文化共生を推進する事業について、「はままつ多文化共生 MONTH 事業」として認定し、共通のちらしを多言語で作成（日本語、英語、ポルトガル語）するなど、多文化共生を進める活動を支援した。

ちらし60,000部作成 8事業16日間 合計 約17,848人

※他団体主催事業のみ掲載

事業名	参加者
ゲーム de 世界めぐり	24 人
ブラジルデイ in 浜松 2014	約 5000 人
親子で楽しむ世界のことば	20 人
市民向け中国語講座	40 人
浜北国際フェア	900 人
第 14 回浙江省青少年民族芸術団西部地区公演・浜松市公演	6464 人
SUAC で国際交流・多文化共生にふれよう	約 400 人
浜松カップ フェスタサンバ 2014／第 3 回グローバルストリートフェスタ	約 5000 人

② 文化・スポーツ紹介事業

Facebook で浜松市内の主要な文化・スポーツイベント等についての情報を多言語で提供。

22 件（花博、科学館のイベント、秋の芸術祭、水泳場の案内等）

③ 地域活性化セミナー

■留学生ウエルカム・イベント「和菓子作り体験で交流しよう」

趣 旨 留学生と地域の人たちが和菓子作りという日本文化の体験イベントを通じて交流する機会をつくり、留学生にこの地域に愛着を持ってもらう。JETRO 浜松により産業都市浜松の説明と企業の紹介も行い、これをきっかけに浜松の企業での就職にも関心を高めてもらう。

日 時 11 月 22 日(土) 13:30～15:30

会 場 多文化共生センター

内 容 ・和菓子作りの話と体験（講師：富田直満 田町梅月代表取締役社長）
 ・JETRO 浜松より講話（留学生活用希望の企業情報について）

参加者 47 人（留学生 23 人、ホストファミリー13 人他）

成 果 留学生、ホストファミリーともに満足度の高いものとなった。和菓子など日本の特産品を海外で売り出すような企業活動についての説明やそのために留学生の力がほしいという JETRO の説明も説得力があった。留学生にとっては日本文化を知り、海外に進出希望のある企業の存在を知るよい機会となった。

■「南米系外国人のための労働問題・グローバル人材セミナー」

趣 旨 浜松で一番人数の多いブラジル人住民を対象として、彼らがグローバル人材として活躍してもらうためのセミナーを行う。浜松やブラジルでの労働市場についての話や資格取得を通してスキルアップする、起業するなど幅広い可能性について示す。

日 時 11 月 23 日（日）14:00～18:00

会 場 アクトシティコンgresセンター 41 会議室

内 容 「労働者の権利と義務・職業の資格・起業」

講師：在浜松ブラジル総領事館労働課（ブラジル労働者のスペース）

「労働市場の現状とスキルアップ」

講師：ハローワーク浜松 外国人専門監

「正社員として活躍しているブラジル人の若者のインタビュー」

講師：H I C E

「グローバル化に向けての人材・起業家について」

講師：ゴミデ・ハバート氏（在日ブラジル商業会議所）

「在日ブラジル人の主な労働問題・労災について」

講師：在浜松ブラジル総領事館労働課（ブラジル労働者のスペース）

「ブラジル・日本社会保障協定について」

講師：高橋ブルーノ氏（ブラジル連邦裁判官）

「ブラジルへ帰国したブラジル人の労働状況と課題について」

講師：二宮正人氏（ブラジル国外就労者情報援護センター理事長）

「日本で資格がとれるブラジルの職業訓練学校について」

講師：ディアス・ファビア氏（ブラジル専門学校 SENAC/SENAI）

参加者 148人

後 援 在浜松ブラジル総領事館

成 果 幅広い話題を提供することによって、参加者に大きな刺激を与えることができた。漠然と仕事をするのではなく、資格取得や起業などについても考える機会となった。

■外国にルーツを持つ若者による若者のための就職セミナー

「グローバル人材就職応援セミナー～特性の活かし方～」

趣 旨 外国にルーツを持つ若者が自分の強みについて自覚し、アピールできるようになる。地域の企業に外国にルーツを持つ彼らの存在や能力についてアピールし、就職など人材活用につなげる。

日 時 1月18日（日）13:30～16:00

会 場 多文化共生センター

内 容 【第1部】先輩からのお話 土谷レオナルド（浜北消防署）
山田ジルソン（伸栄総合サービス）

【第2部】企業からのお話 遠鉄グループ、㈱ヤタロー、KDDI(株)（au ショップ）

【第3部】座談会

参加者 36人

企画協力 COLORS（外国にルーツを持つ若者の会）

成 果 転職希望の若者や高校生など多様な外国にルーツを持つ人材が参加した。先輩から

の話をした講師がロールモデルとして役割を果たし、参考になったという声がかかれた。参加した企業の中には、初めて「外国にルーツを持つ人材」の特徴、能力を意識する場となったと評価したところがあった。

グローバル感覚に優れた人づくり

1. グローバル人材の育成と活用 参加者数：延べ 8,683 人

① 地球人教育出前講座及びコーディネート

(市委託：浜松市多文化共生センター事業) (1,857 人)

国際協力機構（JICA）と連携し、外国人講師や国際理解教育の専門家の講師派遣等を通じて、市内小中学校や公民館等における国際理解を推進した。

■学校への派遣

学校名	派遣人数	対象/参加者数
浜松学院中学校	3 人	中学生 55 人
静岡文化芸術大学	1 人	大学生 210 人
新津中学校	2 人	中学生 128 人
浜名小学校	2 人	小学生 92 人、保護者 20 人
江南中学校	1 人	中学生 30 名
延べ 5 校	延べ 9 人	延べ 535 人

■協働センター等への派遣・コーディネート

派遣先名	派遣人数	対象/参加者数
浜松市立看護専門学校	延べ 14 人	看護学生延べ 576 人
浜松デザインカレッジ	3 人	30 人
長上協働センター	1 人	12 人
浜松女性団体連絡会	1 人	30 人
曳馬協働センター	3 回 (3 人)	合計 47 人
星槎国際高等学校	2 人	5 人
NPO 法人国際教育文化協会	1 人	30 人
専門学校ルネッサンスアカデミー	2 人	50 人
名古屋国際センター	1 人	200 人
幸自治会子ども会	2 人	110 人
延べ 10 か所	延べ 30 人	延べ 1,090 人

■学校等からの訪問

学校名	期間	参加者数
静岡大学	2 日	15 人
静岡文化芸術大学	3 日	35 人

海外日系人協会	1日	41人
静岡大学附属中学校	2日	5人
内閣府	1日	2人
浜松大学	1日	14人
南カルフォルニア大学	1日	1人
KTC 中央高等学院	1日	1人
東京大学	1日	1人
NPO	1日	7人
高崎健康福祉大学	1日	1人
静岡労働局	1日	15人
愛知大学	10日	1人
慶應義塾大学	2日	35人
NPO 法人多文化共生センター 一東海	1日	1人
名古屋学院大学	1日	1人
人身取引対策協力セミナー	1日	13人
中央大学	1日	1人
名古屋大学、愛知教育大 学、三重大学	1日	18人
浜松学院中学校	1日	2人
新津中学校	2日	4人
湖西高校	1日	1人
豊橋市多文化共生課	1日	3人
静岡大学	1日	1人
浜松医科大学	1日	1人
遠州鉄道	1日	3人
千葉大学	1日	2人
法政大学	1日	1人
難民支援協会	1日	2人
早稲田大学附属高等学校	1日	1人
消費生活センター	1日	1人
神久呂中学校	1日	1人
東京芸術大学	1日	1人
延べ 35 団体	延べ 48 日	延べ 232 人

②国際理解教育講座（市委託：浜松市多文化共生センター事業、自主事業）（158人）

■国際理解教育ワークショップ（40人）

ソーシャルビジネスを立ち上げ活躍している講師から話を聞き、グローバル人材について考え、参加者自らもグローバル人材となることを目指すきっかけを作る。

「ステキ・おいしいから世界とつながる」

日 時 7月27日（日）13：00～16：30

内 容・講演「人生を変えたルワンダのバスケット」

（株）Ruisse B 代表取締役 小澤里恵

- ・ハニーココススイーツ試食（インドネシアのフェアトレードのココヤシの砂糖を使ったお菓子の試食）
- ・ワークショップで学ぶ「世界ではばたく人ってどんな人？」

参加者 40人

協 力 JICA 中部、はままつ国際理解教育ネット

■国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座（118人）

内 容 在住外国人も多く、国際的な活動を展開する企業も多い浜松市において、真に国際理解の進んだグローバルな地域にしていくためには、人類共通の課題である多文化共生・貧困・異文化理解・環境などを自分の課題としてとらえ、解決に向けて行動を起こす人材を育てることが必須である。そのために、参加型学習という方法で実践できる人材を育てるための国際理解教育ファシリテーター養成講座を開催した。この講座受講生が、2月15日に行われたグローバルフェア内で国際理解教育ファシリテーターとして活躍した。

場 所 多文化共生センター

対 象 教員、ボランティア活動者など

参加者 延べ118人

共 催 はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部

	テーマ	日時	参加者
第1回	『多文化共生』と『参加型学習』	9月28日 （日） 13：00～17：00	35人
第2回	『食』と『環境』	10月26日 （日） 13：00～17：00	40人
第3回	『貧困』と『幸せ』・ファシリテーションスキル	11月8日 （土） 13：00～17：00	22人

第4回	ワークショップづくりと実践	11月30日 (日) 13:00~17:00	21人
合計			118人

③第5回はままつグローバルフェア（自主事業）（5,129人）

目的 ①広く市民（特に次世代を担う子ども）に呼び掛け、国際交流に参加する初めの一歩とする。また、多文化共生や国際協力について考えてもらうきっかけとする。

②市民協働により企画運営することで、市民の主体的な動きを促す。

③国際理解教育ファシリテーター養成講座の成果を発表する機会とする。

日時 2月15日（日）10:00～18:00

場所 クリエイト浜松

参加者 一般市民 5,129人

主催 公益財団法人浜松国際交流協会、はままつ国際理解教育ネット、独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA 中部）、公益財団法人浜松市文化振興財団（クリエート浜松）

後援 浜松市、浜松市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、NHK静岡放送局、朝日新聞静岡総局、Fm Haro!

内容

1階 World Market Zone ワールド・マーケット・ゾーン			
会場	内容	担当	詳細
ふれあい 広場	物品販売・ブース出展	HICE	フェアトレード商品などの物品販売、ブースによる国際交流・国際協力や多文化共生に関する活動紹介、物品販売。
	団体活動紹介展示		市民団体等が展示により国際交流や多文化共生に関する活動を紹介します。
	「平和」壁画 展示アート マイル	JICA	「平和」をテーマに各国の子どもたちが共同で製作した壁画を展示。1.8m×3.6mの絵を計6枚（JICA 企画）
外：中庭	世界の料理	HICE	ブラジル、ペルー、インドネシア、フィリピン、トルコ、カナダ、ベトナム料理
2階 World Stage Zone ワールド・ステージ・ゾーン			
ホール	開会式・表彰式 & スピーチコンテスト	HICE、	<ul style="list-style-type: none"> 開会式・表彰式・スピーチコンテスト 絵画コンクール「世界のみんなとつながる ぼくたちわたしたち」・作文コンクール「世界のみんなとよりよい社会をつくるために必要なこと」。 浜松在住外国人による「写真で語る私の歴史」を開催。

	国際協カステージ	JICA	スペシャルトークショー「途上国発、ブランドの挑戦」 MOTHER HOUSE (株) 代表取締役、山口絵理子氏講演会を開催した。
	国際理解教育 WS	はま国	「世界がもし 100 人の村だったら」 主に親子向けに、世界の現状を体験するワークショップを行った。
	多文化ワークショップ	HICE	No Side トーク&ライブ～ぼくのわたしの頑張る宣言～ 外国にルーツをもつ若者音楽グループ (No Side) のライブを開催。プログラムは外国にルーツのある若者と多文化共生に関心のある日本の若者が企画運営した。
アトリエ	ものづくり体験教室	はま国、クリエート	フェアトレードビーズを使ったストラップ作りを体験することで世界を考えた。
講座室	環境イベント	オイスカ	端材を利用した積み木で子どもたちに遊んでもらうことを通じて環境を考えた。
HICE	本部	HICE	スタンプラリー抽選会場及び、総合案内所
5階 Workshop Zone ワークショップ・ゾーン			
会議室	国際理解教育ワークショップ	はま国ネット	①映画を観て考える②足元から考える多文化共生の2つのワークショップを行う。ゲームや話し合いで世界の課題について考えた。
スタジオ	参加型文化交流体験	クリエート・HICE	計4団体が出演。参加者と一緒に世界の音楽やダンスを楽しんでもらう機会を提供。 フィリピンのマグララティックダンス、ペルーのマリネラダンス、インドネシアのガムラン体験、インドの笑いヨガを行った。
51 会議室	世界のあそび体験	フレクティブ	世界のゲームを英語で体験した。
和室 (第1・2)	日本文化体験	クリエート	主に外国人向けに、日本の伝統文化である着付けといけばなに親んでもらった。 提供：ゆめはなスクール

④多文化体験・交流事業（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）（1,539人）

	日程	内容	参加者
1	4月2日	お花見をしよう！	37人
2	6月12日	田植え体験	22人
3	6月26日	キャラ弁を作ろう	21人
4	7月23日	避難訓練	49人
5	7月23日	世界の料理 de こんにちは(おにぎり)	58人
6	8月9日	クバーラ	19人
7	9月16日	世界の料理 de こんにちは(流しそうめん)	58人
8	12月12日	みかん狩り	27人
9	1月19日	これだけは知っておきたい日本のお葬式マナー	13人
10	2月12日	雛人形を飾ってひな祭り体験！	27人
11	3月11日	知って満喫！英国の魅力	24人
合計			355人

■多文化イベント

	第1回	第2回	第3回
テーマ	フェスタジュニーナ (ブラジルの収穫祭)	ワールドクラフトフェア	インターナショナルパーティー
開催日	6月22日(日)	10月18日(土)	11月22日(日)
場所	外国人学習支援センター	イオンモール浜松志都呂店	外国人学習支援センター
協力	セメンチ パラ オ フトゥーロ		
参加者	200人	484人	500人
合計			1,184人

2. 国際交流・理解のための外国語講座 参加者数：延べ1,370人

①国際交流のための外国語講座（自主事業）（162人） 会場：多文化共生センター

■国際交流のためのタイ語講座：初級（全8回）

講師	キツパームチャルーン・チュダー
日程	火曜日 19:00～20:30

第1期	5月13日～7月1日	受講者 合計42人	12人
第2期	10月7日～11月25日		15人
第3期	1月27日～3月17日		15人

■国際交流のための英語講座：中級（全8回）

講師	第1期大嶋ジョナサン（火）、第2・3期ダビッド・マーテル（火）、 第1期ブレッド・メイヤー（木）、第2期エレン・ミッチェル（CIR・木）、 第3期ノブレ・メンセディタ（木）		
日程	火曜日 10：00～11：30、木曜日 19：00～20：30		
第1期	5月13日～7月1日（昼） 5月15日～7月3日（夜）	受講者 合計62人	12人 10人
第2期	10月7日～11月25日（昼） 10月9日～11月27日（夜）		9人 15人
第3期	1月20日～3月10日（昼） 1月22日～3月12日（夜）		8人 8人

■国際交流のためのインドネシア語講座：初級（全8回）

講師	アストリッド		
日程	水曜日 19：00～20：30		
第1期	6月14日～7月2日	受講者 合計18人	8人
第2期	10月8日～11月26日		6人
第3期	1月21日～3月18日 ※2月4日は講師の都合でお休み		4人

■国際交流のためのベトナム語講座：初級（全8回）

講師	ラム・クエン		
日程	水曜日 19：00～20：30		
第2期	10月8日～11月27日	受講者 合計8人	8人

■国際交流のための韓国語講座：初級（全8回）

講師	松浦礼子		
日程	木曜日 19：00～20：30		
第1期	5月15日～7月3日	受講者 合計4人	4人

■国際交流のための中国語講座：初級（全8回）

講師	趙驕陽（ちょうきょうよう）		
----	---------------	--	--

日程	金曜日 19:00～20:30		
第1期	5月16日～7月4日	受講者 合計 3人	3人

■国際交流のためのスペイン語講座：初級（全8回）

講師	遠藤明美		
日程	金曜日 19:00～20:30		
第1期	5月16日～7月4日	受講者 合計 25人	7人
第2期	10月10日～11月28日		8人
第3期	1月23日～3月13日		10人

②国際交流のための外国語サロン（自主事業）（259人） 会場：多文化共生センター

■各国語サロン：中級以上

講座名	中国人大学准教授から学ぶ中国の現在	ポルトガル語サロン	スペイン語サロン	Let's E-会話
開催日	6月～月 土曜日 10:00～12:00	8月、12月 土曜日 10:00～11:30	11月、3月 土曜日 10:00～11:30	4月～3月 月1回 日曜日 13:30～15:30
回数	6回	2回	2回	12回
参加者	延べ52人	延べ14人	延べ29人	延べ126人
合計				221人

■英文小説を読んで英語を学ぼう！：全6回／上級以上（TOEIC700点以上）

講師	マーカス・スプリンガー		
内容	英語の短編を読み、アメリカ人講師と英語で話し合います。		
日時	1月6日～3月17日 19:00～20:30 第1・3火曜日		
受講者	11人		

■テレビ番組から学ぶ～ブラジル文化・ポルトガル語講座：全5回

講師	豊永ローザ（TV Record International）		
内容	日本のテレビで見られない現在のブラジルをブラジルのテレビ番組で見ながらポルトガル語を学ぶ		
日時	1月10日～2月14日 10:00～11:30 土曜日		
受講者	11人		

■英語で学ぶ「海外で役立つ、自己表現力の高め方」：全3回

講師	Victoria Te You Moore
内容	アメリカ人心理学者による即興劇に基づいたワークショップ
日時	2月1日、3月8日、3月22日（日）10：00～12：00
受講者	16人

③外国人支援者のためのポルトガル語講座

（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）（949人）

場 所 外国人学習支援センター

協力団体 Semente para o Futuro（将来のためのたね）

基礎～初級レベルのポルトガル語会話とブラジル文化を学ぶ

	日程	参加者
1期	5月13日～7月22日（11回）19:00～20:30 火曜・入門コース	180人
	5月8日～7月17日（11回）19:00～20:30 木曜・初級コース	125人
2期	8月26日～11月11日（11回）19:00～20:30 火曜・入門コース	173人
	8月28日～11月6日（11回）19:00～20:30 木曜・初級コース	189人
3期	12月16日～3月10日（11回）19:00～20:30 火曜・入門コース	121人
	12月18日～3月5日（11回）19:00～20:30 木曜・初級コース	161人
合計		949人

3. 国際交流・理解のためのイベント（自主事業） 参加者数：延べ809人

① ウェルカム・イベント（47人）

日 時 4月20日（日）10:00～15:00

場 所 多文化共生センター、クリエート浜松クッキングルーム

内 容 【午前】もっと知りたいオーストラリア

【午後】やっぱりおいしいベトナムスイーツ

参加者 47人

② ワールドゆかたおしゃれコンテストへの出場者コーディネート（13人）

日 時 7月6日（日）12:00～17:00

場 所 浜松市ギャラリーモール「ソラモ」

内 容 「YUKATA フェスタはままつ」で開催される「おしゃれゆかたコンテスト」への外国人参加者の募集、着付け等を行った。

参加者 9人 ボランティア 4人（着付け4人）

③情熱大陸南米の魅力（46人）

日 時 7月6日(日) 13:30～15:30

場 所 多文化共生センター

内 容 ブラジルにある18ヶ所の世界遺産をブラジルの歴史にも触れながら紹介。
(オリンダ、サンルイス、サルバドール、フェルナンド・デ・ノロンニャなど)

講師 ジェロルトン・ブランキンニョ氏 (メルコスール観光局日本代表)

参加者 46人

共 催 ツニブラトラベル(株)

後 援 駐日ブラジル大使館、在浜松ブラジル総領事館

④親子で English（152人）

日本人・フィリピン人の3歳から6歳までの子ども連れの親子が歌やゲームを通して楽しく英語に親しみながら参加者どうしの交流も行った。

日 時	5月11日	6月8日	7月13日	9月28日	10月26日	11月30日
	日曜日 10:00～12:00					
場 所	多文化共生センター					
講 師	Filipinos English Teachers in Japan (FETJ)					
参加者	12組 33人	10組 24人	11組 31人	8組 22人	8組 20人	9組 22人
	合計					58組 152人

⑤多言語 de 世界のクッキング体験（223人）

英語やその他の言語にふれながら、浜松在住外国人の講師から家庭料理を学び、交流した。

共 催 フレクティブ

会 場 クリエイト浜松クッキングルーム

日時	内容	参加者
7月5日(土) 10:00～12:30	英語でイギリス料理	30人
7月19日(土) 10:00～12:30	ポルトガル語でブラジル料理	15人
8月3日(日) 10:00～12:30	中国語で中国料理	23人
8月24日(日) 10:00～12:30	タガログ語でフィリピン料理	20人
9月20日(土) 10:00～12:30	英語でインド料理	40人
10月11日(土) 10:00～12:30	タイ語でタイ料理	19人
2月22日(日) 10:00～12:30	英語でイギリス料理	37人
3月14日(土) 10:00～12:30	アラビア語と英語でスーダン料理	39人
	合計	223人

⑥マダガスカルの鬼ごっこ「クバーラ」体験（86人）

主に子ども向けに、海外の異文化を体験するイベントを開催。

共催 フレクティブ、JICA 中部

日時	会場	参加者
7月12日（土）10：00～12：00	蒲協働センター	40人
10月18日（土）13：00～15：00	東部地区体育館	30人
12月6日（土）10：00～12：00	南部協働センター	16人

⑦世界最大級の鳥が踊る？～アンデス・コンドルの踊り（47人）

日時 10月12日（日）14：30～16：00

会場 多文化共生センター

内容 南米系外国人の若者が企画をして日本人向けにペルー文化理解のための講座を開催。

参加者 47人

共催 ペルー人グループ「グループ ホベネス・イン・マルシャ」

⑧ポルトガル語スピーチコンテスト（70人）

日時 11月9日（日）14：00～17：00

会場 多文化共生センター

内容 今年は、大人の部に加え、子どもの部を設置。日本の学校に在籍しながら、ポルトガル語の母語教室「まつっこ」に通う子どもたち13名も発表した。

参加者 70人（大人の部出場者12人、子どもの部出場者13人）

共催 在浜松ブラジル総領事館

⑨ダビッドさんのカナダのクリスマス料理（125人）

日時 11月29日、12月6日、20日（土）14：00～16：00 12月13日（土）14：30～16：30

場所 クリエイト浜松4階クッキングルーム

内容 カナダのお菓子や料理を作りながらカナダ文化や英語に親しんだ。

・本格カナダのミール&スイーツ（11/26、12/13）

・親子でクッキング（12/6、20）

参加者 48人、26組（73人）合計125人

4. 担い手の育成：ボランティア活動支援事業（自主事業）

参加者数：延べ896人

① HICE ボランティアバンクの運営（641人）

通訳・翻訳、日本語教育、ホームステイ、イベント、出前講師に関する市民ボランティアの活

動を推進した。

＜ボランティアバンク登録人数＞ 6区分

出前講師ボランティア	70人
通訳・翻訳ボランティア	120人
日本語教師ボランティア	136人
ホームステイボランティア	88人
情報提供ボランティア	67人
事業ボランティア	160人

合計： 延べ 641人

②ホームステイ・コーディネート (255人)

■JICE フィリピン大学生コーディネート

依頼者 一般財団法人 日本国際協力センター (JICE) 中部支所

期間 5月23日～5月25日 (2泊3日)

参加者 29人 ホスト 10家庭

■JICE インド大学生コーディネート

依頼者 一般財団法人 日本国際協力センター (JICE) 中部支所

期間 6月6日～6月8日 (2泊3日)

参加者 50人 ホスト 28家庭

■「ザ・ヤングアメリカンズ アジアンツアー2014 夏」にホームステイボランティア紹介

依頼者 株式会社サーラコーポレーション

期間 6月13日～6月16日 (3泊4日)

紹介数 2家庭

■日本語学校生徒の日本の家庭へのホームステイをコーディネート

依頼者 静岡理工科大学 浜松日本語学院

期間 9月6日(土)～9月7日(日) (1泊2日)

参加者 留学生 9人 ホスト 8家庭

■JICE シンガポール高校生コーディネート

依頼者 一般財団法人 日本国際協力センター (JICE) 中部支所

期間 11月14日～11月16日 (2泊3日)

参加者 16人 ホスト 13家庭

■静岡大学留学生の日本の家庭へのホームステイをコーディネート

依頼者 静岡大学 国際交流センター

期間 11月21日(金)～11月23日(日) (2泊3日)

参加者 留学生 7人 ホスト 7家庭

■JICE インドネシア大学生コーディネート

依頼者 一般財団法人 日本国際協力センター (JICE) 中部支所

期 間 1月16日～1月18日(2泊3日)

参加者 50人

ホスト 26家庭

5. 担い手の支援：国際交流活動支援事業 参加者数：延べ9,936人34件

①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の交付（34件）

浜松市内で活動する多文化共生・国際交流関係団体を支援するため、多文化共生・国際交流推進事業費補助金を交付した。(円)

No.	対象事業	主催団体	交付額
1	外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援	外国人子どもサポーターズクラブ	300,000
2	日本語学習支援	そらの会	228,000
3	第24回国際親善中学野球交歓試合 台湾大会	浜松市中学野球国際親善育成会	140,000
4	日中文化の集い(国際交流)	NPO法人浜松日中文化交流会	100,000
5	中国人のための日本語勉強会	中国文化交流会	200,000
6	アラッセ 希望教室	NPO法人ARACE	400,000
7	フィリピン人青年のための日本語教室	NPO法人フィリピンナガイサ	170,000
8	フィリピンナガイサ国際交流イベント活動	NPO法人フィリピンナガイサ	27,000
9	Utawit 浜松 2014	Utawit 浜松実行委員会	50,000
10	第3回グローバルストリートフェスタ	CORES	200,000
11	外国籍児童就学促進支援事業	WISH	133,000
12	みんなおいでよ!子どもフィエスタ	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	150,000
13	地域の多様なニーズに応じた多文化共生事業	多文化共生社会をめざす会	77,100
14	浜松ワールドミュージックフェスティバル2015 こどものための音楽会	浜松ミュージック・アート少年団	250,000
15	日本文化と中国文化の共生	天竜日中友好協会	150,000
16	ダイバーシティを目指す日韓青少年人財交流	一般社団法人グローバル人財サポート浜松	150,000
17	日本語勉強会	NPO法人浜松日本語・日本文化研究会(にほんごNPO)	200,000

18	国際音楽の日記念・尺八発表会コンサート	尺八東海竹心会	71,000
19	外国籍児童生徒への日本語教育及び学習補助支援	龍の会	220,000
20	AFRICAN LIVE! Vol.2	SUNUGAL	100,000
21	日中友好交流事業	浜松市浜北日中友好協会	100,000
22	浜北国際フェア	浜北国際交流協会	25,000
23	スペイン語読み書き教室 YACHAY	スペイン語読み書き教室 YACHAY	400,000
24	フィリピン支援チャリティーコンサート	NPO法人A I P E A C E	50,000
25	隣人を助けるための日本語学習	NPO法人A I P E A C E	400,000
26	母国語による子どもの教育構築事業	一般社団法人ブリッジハートセンター東海	400,000
27	第1回ペルーフェスティバル i n はままつ	日本ペルー文化交流協会	150,000
28	地域の多様なニーズに応じた多文化共生事業	多文化共生社会をめざす会	47,000
29	中国春節の集い（国際交流）	NPO法人浜松日中文化交流会	133,000
30	在住外国人のための日本語講座と国際交流事業	一般社団法人グローバル人財サポート浜松	95,000
31	定住外国人の子どもの就学支援事業	特定非営利活動法人A R A C E	470,000
32	在住外国人との料理交流フェア	細江町国際交流協会	38,000
33	外国人住民に対する日本語学習支援「にほんご木曜教室」	NPO法人浜松日本語・日本文化研究会（にほんごNPO）	300,000
34	Ukiyo-e Heroes Exhibition	Hamamatsu Cultural Exchange Group	64,000
合計			5,988,100

②天竜地域事業（768人）

■日本語教室（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）

期 間 平成25年4月7日～平成26年3月22日

日曜日 10:00～11:30 全38回

場 所 二俣協働センター（天竜区二俣町）

内 容 会話クラス、日本語能力試験受験クラス、児童日本語クラス

受講者 登録者数 延べ16人 参加者数 延べ211人

国籍 インドネシア、ブラジル、中国、タイ

■英会話教室（自主事業）

場 所 二俣協働センター（天竜区二俣町） 光明ふれあいセンター（天竜区山東）

各コース 22 回 受講者 34 人	初級 (火) 19:30～21:00	中級 (木) 19:30～21:00	上級 (木) 19:30～21:00
前期 4 月 8 日～9 月 30 日	16 人		
後期 10 月 21 日～3 月 26 日	19 人		
合計			35 人

■イングリッシュ・ブック・ディスカッション（自主事業）

天竜区内在住のアメリカ人英語講師により、英文小説を読み、英語でストーリーについてディスカッションすることで、英語のスキルアップを目指した教室を開催。中級（TOEIC450 点以上）。

場 所 光明ふれあいセンター（天竜区山東）

各コース 6 回	第 1 回 5 月 24 日～8 月 9 日	第 2 回 10 月 11 日～12 月 20 日	第 3 回 1 月 10 日～3 月 28 日
	10 人	8 人	8 人
合計			26 人

■英語でカナダのスイーツを作ろう：英語で親子クッキング（自主事業）

日 時 3 月 22 日（日）14：00～16：00

場 所 二俣協働センター

内 容 カナダ人の英語教師を講師に、4 歳～小学生の子どもと保護者が英語での説明を聞きながら、メイプルシロップを使ったスイーツ作りにチャレンジする教室。英語の絵本の読み聞かせも行った。

参加者 22 人

■光明ふれあいまつり参加（自主事業）

日 時 2 月 15 日（日）9：00～15：30 場 所 光明ふれあいセンター

日 時 3 月 1 日（日）9：00～15：00 場 所 二俣協働センター

内 容 世界を知ってもらうためのクイズと HICE 活動紹介

参加者 各 220 人程度

③セミナールームの活用（市委託：浜松市多文化共生センター事業）（9,007 人）

浜松市多文化共生センターのセミナールームをオープンルームとして一般に公開するとともに講座・セミナー等の事業活動に利用した。

年間利用者数 9,007人

④多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：浜松市多文化共生センター事業）
（157人38件）

■多文化共生・国際交流・国際協力の活動団体とのネットワーク化事業

「国際交流・多文化共生情報交換会」

日時 5月31日（土） 14:00～16:00

場所 多文化共生センター

内容 ①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の説明
②「はままつ多文化共生 MONTH 事業」の説明
③各団体の活動紹介

参加者 14団体18人

■多文化共生活動コーディネート（38件）

1) 国際交流を進めるグループ（フレクティブ：フレッシュ・アクティブ・コミュニケーション）の活動支援。「多言語 de 世界のクッキング体験」（8回）「マダガスカルの鬼ごっこクバーラ」（3回）「ゲーム de 世界めぐり」（8回）の活動開催支援。

2) フィリピン人の英語の先生のグループ（Filipinos English Teachers in Japan:FETJ）の活動を支援

日本人・フィリピン人の3歳から7歳までの子ども連れの親子を対象に、歌やゲームを通して楽しく英語に親しみながら参加者どうしの交流を行う会「親子でEnglish」の開催支援。（6回）

3) 国際理解教育活動を進める市民グループ（はままつ国際理解教育ネット）の活動を支援
担い手となる人材育成のための「国際理解教育ファシリテーター養成講座」の開催支援。

（4回）

4) ブラジル人を中心とする外国人グループグループ・ハッピー」の活動を支援

多国籍なメンバーにより、浜松市中心街でフラッシュモブ（街中で突然、ダンスなどのパフォーマンスを行うことを通して、メッセージを発信する）を行った。

多国籍な浜松市民が町を盛り上げる様子を見せることができた。

日時 10月19日（日）14:15（5分間）

場所 浜松市中心部 ザザシティ前の路上

参加者 51人

* 「浜松秋の芸術祭」の中で行った

5) ペルー人団体「アカデミア・レクテレスクリテウーラ・ヤチャイ」の活動支援

ペルーなど南米系外国人の若者のためのセミナー「困難を乗り越えるために」の開催を支援。そこに参加した若者たちの企画として、日本人向けにペルー文化理解のための講座「世界最大級の鳥が踊る？アンデス・コンドルの踊り」の開催支援。(2件)

6) 外国にルーツを持つ若者グループ (COLORS) 活動支援

毎月1回程度の小規模な交流&トークの場を設定。そこから、地域活性化事業への発展をねらう。

日時	内容	参加者
5月21日(水) 19:00～21:00	座談会 「あなたのルーツとストーリーを語ろう」	13人
6月18日(水) 19:00～21:00	座談会 「もっとキビシイことを話そう～私はこうやって学んだんだ～」	7人
8月8日(金) 19:00～21:00	座談会 「国際結婚、外国人の彼氏彼女」	8人
9月12日(金) 19:00～21:00	座談会 「就職について」	14人
12月8日(月) 18:30～20:30	ワークショップ 「キャリア・プランニング・ワークショップ」	10人
1月18日(日) 13:30～16:00 *再掲	セミナー 「グローバル人材就職応援セミナー～特性の活かし方～」	36人
合計		88人

6. 情報提供事業 **提供者数：延べ6,984人** (情報カウンターでの提供数のみ計上)

①機関紙 HICE NEWS の発行 (自主事業)

発行部数：日本語版 2350部 ポルトガル語版 2300部 英語 900部 合計 5,550部
発行回数：毎月1日発行 年11回

② ホームページの運営 (自主事業)

ホームページアクセス合計数 237,312件

HICE ホームページ (日本語、ポルトガル語、英語)

浜松市多文化共生センターホームページ (日本語、ポルトガル語、英語、中国語)

浜松市外国人学習支援センターホームページ（日本語、ポルトガル語、英語、中国語）

③ Facebook の運用（自主事業）

「いいね」合計数 1,896 件

④ HICE info メールによる情報配信（自主事業）

会員・ボランティア等に情報を配信。年間 69 回配信。

配信先 1,839 人

⑤ CIR NEWS の配信（自主事業）

国際交流員（CIR）による英語・日本語併記の文化紹介メールマガジンを毎月配信

配信先 625 人

⑥ 情報カウンターの設置（市委託：浜松市多文化共生センター事業）（6,984 人）

情報カウンターにボランティアを配置し、外国人市民・日本人市民に対し、必要な情報を提供。

延べ提供数 外国人 3,424 人、日本人 3,560 人 合計 6,984 人

ボランティア配置 延べ 1,037 人

⑦ 催し物案内ミニリーフレットの配布（自主事業）

春号 2500 部、夏号・秋号・冬号 各 2,200 部配布

公共施設とともに店舗・ロコミにより広く配布を行った。